

吉田川志田谷地防災センター 鍵の引き渡し式（開催）

- 令和元年東日本台風で大規模な浸水被害が発生した大崎市鹿島台志田谷地地区の水防災拠点において、吉田川志田谷地防災センターの共同事業（大崎市、国土交通省）が完成したことから令和4年5月9日（月）に鍵の引き渡し式を開催（大崎市の関係者、指定管理者など17人が参加）
- 大崎市は地域の一時避難場所の確保、水防活動の体制強化など、国は災害対策車両の分散配備、排水活動の体制強化などを目的として整備を実施。
- 行政区長は、『防災センターが完成したことで災害時は一時避難所として使用する他、平常時には、敬老会など地域の交流活動を行いたい。』『防災センターができたことで、地区の方々も安心・安全に生活できる。』と期待の言葉を話しました。
- 水防災拠点建築工事の早期完成及び、子供向けの防災教育の動画の作成など地域貢献にも取り組んだ、株式会社 丸本組へ大崎市から、感謝状の贈呈も執り行われました。

吉田川志田谷地防災センター 完成写真



祝 吉田川志田谷地防災センター 鍵の引き渡し式



鍵の引き渡し式の様子
（志田谷地行政区会）



▲伊藤 康志
大崎市長 挨拶



▲石田 和也
北上川下流河川事務所長 挨拶



▲武藤 勝実
上志田行政区長 挨拶

祝 吉田川志田谷地防災センター 鍵の引き渡し式



感謝状贈呈の様子（丸本組）

挨拶 「吉田川志田谷地防災センター一鍵の引き渡し式」

いとう やすし
■伊藤 康志 大崎市長 挨拶



- 令和元年度東日本台風災害を受け、国、流域自治体、地域が連携し一体となって、減災対策に資するための組織を設置し、「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」に着手して参りました。防災センターは、このプロジェクトの一環として、国土交通省と大崎市が共同事業として取り組んできたものであります。
- 国土交通省の排水ポンプ車が配備されるなど、浸水被害発生時の迅速な対応を可能とし、また一時避難所や現地指揮室として利用可能なため、災害時の防災拠点として、志田谷地地区住民をはじめとした大崎市民のさらなる安全・安心な生活に寄与するものと思っております。
- 平常時には地域住民の自主的な地域活動の拠点として、防災教育の一助にもつながる重要な役割をもつ施設になると期待しているところでございます。
- 防災センターの整備にあたりご理解とご協力を賜りました地域の皆様、さらには、建築工事に際し、卓越した技術で早期完成に貢献いただいた株式会社 丸本組 様 に対し、深く感謝を申し上げます。

いしだ かずや
■石田 和也 北上川下流河川事務所長 挨拶



- 令和元年の東日本台風では、大郷町粕川地区で吉田川の堤防が決壊したことや複数箇所の越水によって、再び大きな被害が発生いたしました。これを受け、流域治水の観点でこれまでの対策をさらに進化させる「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」を令和4年3月にとりまとめた所です。
- 志田谷地防災センターは、大崎市との共同事業として、昨年10月に着工しました。工程的に厳しい現場でしたが、施工業者の丸本組さんは、この課題を熱意と工夫で克服し、本日無事建築工事が完成し、建物の鍵をお渡しできるのは、丸本組の努力、そして何より、工事を温かく見守っていただいた地元大崎市の皆様のご理解とご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。
- 今後、国土交通省では、当センターをTEC-FORCEの活動拠点として、また災害対策車両の格納庫とすることで、これまで以上に水害に対して、より迅速な対応を図ることが可能になります。なお、当センターは駐車場や外構工事の完成は夏頃になる予定です。
- 5月29日(日)の北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防災演習では、当センターで行う避難訓練を演習会場の大型スクリーンに映像中継する予定です。

むとう かつみ
■武藤 勝実 上志田行政区長 挨拶



- 令和元年10月の水害被害、約2年と7ヶ月たちましたけれども、こんなにも早く立派な施設が出来るとは想像しておりませんでした。これもひとえに北上川下流河川事務所の皆様と大崎市の皆様のご協力のおかげだと思っております。指定管理者となりましたけれども、こんなに立派な建物を管理するのはおもしろいところもありますけれども、関係機関の皆様のご協力とご指導をもらいながら運営していきますので、これからもよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。